

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB(Seminar of Study B)	授業コード	C172574
担当教員名	本多 恒雄、大江 克利		
配当学年	3	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	卒業研究に繋がる内容ですので、3年生は全員履修するようにして下さい。		
受講心得	進路、人間力、卒業研究内容等を念頭に置き全員受講が望まれます。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	各教職員からの指定図書等		
関連科目	研究ゼミナールA、航空工学演習3、卒業研究		

授業の目的	4年次の卒業研究に向けて、やってみたい研究テーマを調べ決定できるようにするとともに、進路について各自の視野や認識を広め、卒業研究及び就職活動に円滑に移行できるようにする。
授業の概要	前半において講師による自由な講演、中期に各研究室の紹介、所属研究室の希望調査、後半で研究室の決定、就職に必要な事項の解説、そして配属をします。 また、現在企業で活躍する方から直接その企業環境や企業の考え方等について講演をお願いする予定です。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：全体説明</b> 授業の進め方と詳細スケジュールについて説明します。	
<b>第2週：研究室紹介と自由講演(1)</b> 大江研、小幡研、安田研の紹介	
<b>第3週：特別講義(1)</b> 航空関連設計業界の企業から講師を招いて、企業環境、企業の考え方、就職環境、等について具体的に話をしてもらいます。	
<b>第4週：研究室紹介と自由講演(2)</b> 河邊研、岩村研、本多研の紹介	
<b>第5週：研究室紹介と自由講演(3)</b> 林田研、岡崎研の紹介	
<b>第6週：特別講義(2)</b> 航空関連製造業界の企業から講師を招いて、企業環境、企業の考え方、就職環境、等について具体的に話をしてもらいます。	
<b>第7週：企業紹介(1)</b> 設計関係、製造関係、整備関係の企業(主として、本学科の学生の内定企業)紹介を行う。	
<b>第8週：希望研修室への研修と希望届</b> 希望する研究室を訪問し、希望する研究室(第1～第3希望)の届け出を行う。	
<b>第9週：特別講義(3)</b> 航空運航業界の企業から講師を招いて、企業環境、企業の考え方、就職環境、等について具体的に話をしてもらいます。	
<b>第10週：企業紹介(2)</b> 宇宙関係の企業、公務員、大学院関係(主として、本学科の学生の行き先)の紹介を行う。	
<b>第11週：希望企業調査</b>	

自分の就職、就活したい企業を抽出し、企業調査を行って、まとめて報告する。		
<b>第12週：特別講義(4)</b> 特定派遣業界の企業から講師を招いて、企業環境、企業の考え方、就職環境、等について具体的に話をしてもらいます。		
<b>第13週：卒業研究室への配属発表</b> 自己の進路について希望調査、企業調査を行い、まとめて報告する。(継続) また、卒業研究の配属先を発表し、該当する研究室を訪問する。		
<b>第14週：卒業研究室への配属</b> 各研究室へ配属し、研究室の先生の指示に従う。		
<b>第15週：全体まとめ</b> 各社の就職最新情報とこれからの就職活動における約束事の確認、就職活動状況等に関する個人面談を行う。		
<b>第16週：</b>		
<b>授業の運営方法</b>	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	
<b>備考</b>	卒論研究室配属を決め、就活への意欲を高める。	

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	自分が行きたい卒業研究について、その概念を理解することができる。
<b>【知識・理解】</b>	自分の行きたい企業への就職活動について、自己PR、志望動機付けを答えることができる。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	特別講義のレポート作成、企業調査結果等について、客観的に説明できる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	就職したい企業、自分の行きたい研究テーマについて具体的に話をまとめることができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点	10点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	20点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		10点	10点	
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	特別講義のレポート作成、企業調査報告等を成績に反映します。
発表・その他(無形成果)	業界調査、企業調査の報告等について、学生に質問し、その回答状況から理解度等を判断します。